

感謝の気持ち



6月に予定していた休日参観が実施できませんでしたが、その日にお家の人に渡そうと子どもたちはプレゼントを用意していました。お家の人にしてもらっていることなどを思い出し、ありがとうございますの気持ちをもって、絵をかきました。その絵をプリントしたエコバックがプレゼントです。各学年では…

たんぽぽ組の子どもたちは…

「いつも送ってもらったり、ご飯をつくってくれたりするお家の人のプレゼントだよ」という先生の言葉に「プレゼントしたい!」「つくりたい」というプレゼントという言葉にウキウキした子どもたちも多かったです。また、クレヨンでかくことも好きです。好きな色を選んだり、かいてみたいことを思いのままに表現したりして楽しみました。出来上がったエコバックに自分の絵がついて(プリント)されているこの不思議さを感じている子どももいました。

お家の人に渡す時は嬉しくて駆け寄る様子が見られたり、ニコニコ笑顔で渡したりプレゼントすることも嬉しかった様子が見られました。

さくら組の子どもたちは…

先生が「お家の人にいつもいろいろとしてもらっているのでプレゼントをつくろう」と話すと「わかった、お弁当毎日つくってもらってる!」「つくろう」と。「絵をかいだものがカバンになるからね」と伝えたものの、??という感じでしたが、絵をかくことに意欲的でした。そして後日、みんながかいだ絵がプリントされたエコバックを飾ると、「あー、これか…」と不思議なことがわかったようで、「私のはこれ」「僕のは…」と喜んで探していました。「なんて言って渡す?」と先生が尋ねると目を輝かせながら「ありがとうございます」「お弁当つくってくれてありがとうって言う」「考えておくわ」と渡すことを楽しみにしていました。

すみれ組の子どもたちは…

「お家の人にいつもいろいろやってもらっているなあ」と話しかけると「ごはんつくってくれてる」「送つて来てくれる」など日ごろのお家の人の関わりを思い出していました。そして、絵をかいたらカバンになり、プレゼントができるということに不思議!?すごい!とその仕組みを楽しみに絵をかきました。そして、プレゼントを渡す日が来て、自分でなんて言って渡すか考えてねと促しました。友達同士で「ありがとうございますやな」と言ってプレゼントを渡せることが嬉しく、ドキドキ、ワクワクしてリュックサックに入れていきました。翌日、「お家の人が『使いやすくてかわいい』と言ってくれた」と嬉しそうに報告していました。

幼稚園生活にも慣れてきて当たり前のように過ごす中で、お家の人の幼稚園への送迎やお弁当つくり、そして日常の子どもたちの身の回りの世話など、ちょっと日頃を思い出し、ありがとうございますという感謝の気持ちを子どもたちにもってほしいとお家の人へのプレゼントつくりをしました。「ありがとうございます」はいつも言える言葉ですが、日頃を振り返り、感謝することはとても大事です。そして言われたほうも改めて嬉しく、愛情が湧いてきます。

大好きなお家の人の思いを寄せながら絵をかいていた子どもたちです。物とか絵の出来栄えとかではなく、気持ちを表す機会として大事に受け止めていただければ、そして親子の絆を深めていただければと願っての取組でした。早速、使っていただいている、「大事で使うのがもったいなくって」「しばらく飾っています」などというお声もいただいたりしました。子どもたちの思いを大切にしていただけたこと、私たち教職員も胸があつくなり、とても嬉しく思いました。